

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 9 月 19 日 (2013.9.19)

【公開番号】特開 2012-63326 (P2012-63326A)

【公開日】平成 24 年 3 月 29 日 (2012.3.29)

【年通号数】公開・登録公報 2012-013

【出願番号】特願 2010-209990 (P2010-209990)

【国際特許分類】

G 0 1 T 7/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 T 7/00 A

A 6 1 B 6/00 3 0 0 S

A 6 1 B 6/00 3 0 0 W

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 25 日 (2013.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X 線を画像信号に変換する X 線センサと、
前記 X 線センサを駆動するための電力を供給するバッテリーと、
前記バッテリーを着脱自在に保持するバッテリーホルダと、
前記バッテリーが前記バッテリーホルダに保持された状態でロックするロック機構と、
前記ロック機構によるロックを解除するロック解除機構と、を備える X 線撮影装置であ
って、

前記ロック解除機構は、操作者による少なくとも 2 つの操作によって、前記ロック機構
によるロックが解除されることを特徴とする X 線撮影装置。

【請求項 2】

前記ロック解除機構は、前記ロック機構によるロックを解除する少なくとも 2 つの操作
部材を有することを特徴とする請求項 1 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 3】

前記 2 つの操作部材は、互いに異なる方向の操作によって、前記ロック機構によるロッ
クが解除されることを特徴とする請求項 2 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 4】

前記ロック機構によるロックを解除する操作は、スライド操作または回転操作であるこ
とを特徴とする請求項 3 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 5】

前記ロック解除機構は、前記ロック機構によるロックを解除する操作部材を有し、
前記操作部材は、前記ロック機構によるロックが解除される方向と異なる方向の操作に
よって、前記ロック機構によるロックが解除される方向への操作が可能であることを特徴
とする請求項 1 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 6】

前記 X 線センサを収容する筐体を有し、

前記操作部材の少なくとも一部は、前記ロック機構によるロックが解除される方向と異

なる方向の操作によって、前記筐体の表面から突出することを特徴とする請求項 5 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 7】

前記ロック機構によるロックが解除される方向への操作は、スライド操作であり、

前記ロック機構によるロックが解除される方向と異なる方向の操作は、回転操作であることを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 8】

前記バッテリーホルダには、前記バッテリーと電氣的に接続する接続部に近接して配置されると共に前記バッテリーが装着されたときに圧縮されるダンパ部材を有することを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の X 線撮影装置。

【請求項 9】

前記バッテリーホルダには、該装着されたバッテリーを所定方向に付勢するポップアップ機構を有することを特徴とする請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の X 線撮影装置。

【請求項 10】

前記ポップアップ機構は、前記バッテリーホルダに軸支された押上部材を有していることを特徴とする請求項 9 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 11】

前記ポップアップ機構は、該装着されたバッテリーを常に上方に向かって付勢することを特徴とする請求項 9 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 12】

前記ポップアップ機構は、該装着されたバッテリーを前記バッテリーが装着される方向と反対の方向に付勢することを特徴とする請求項 9 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 13】

該 X 線撮影装置の駆動状態に応じて、前記ロック解除機構の動作を規制する規制部材を有することを特徴とする請求項 1 乃至 12 の何れか 1 項に記載の X 線撮影装置。

【請求項 14】

前記バッテリーには、前記ロック機構と係合可能な掘り込み部が形成され、前記掘り込み部には、鉛直方向に沿って形成された着脱用溝と、これらの着脱用溝から直交して、互いに近接する水平方向に向かって形成されたロック用溝とを有していることを特徴とする請求項 1 乃至 13 の何れか 1 項に記載の X 線撮影装置。

【請求項 15】

前記バッテリーが前記バッテリーホルダ内に押し込まれ、2 つのロック部材がそれぞれ対応する前記掘り込み部の前記着脱用溝内を通過し、前記バッテリーが前記バッテリーホルダ内に装着されることを特徴とする請求項 14 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 16】

X 線を画像信号に変換する X 線センサと、

前記 X 線センサを駆動するための電力を供給するバッテリーと、

前記バッテリーを着脱自在に保持するバッテリーホルダと、

前記バッテリーが前記バッテリーホルダに保持された状態でロックするロック機構と、

前記ロック機構によるロックを解除するロック解除機構と、を備える X 線撮影装置であって、

前記ロック解除機構は、前記ロック機構によるロックを解除する少なくとも 2 つの操作部材を有することを特徴とする X 線撮影装置。

【請求項 17】

X 線を画像信号に変換する X 線センサと、

前記 X 線センサを駆動するための電力を供給するバッテリーと、

前記バッテリーを着脱自在に保持するバッテリーホルダと、

前記バッテリーが前記バッテリーホルダに保持された状態でロックするロック機構と、

前記ロック機構によるロックを解除するロック解除機構と、を備える X 線撮影装置であって、

前記ロック解除機構は、前記ロック機構によるロックを解除する２つの操作部材を有し

、前記２つの操作部材が互いに異なる方向に操作されることによって、前記ロック機構によるロックが解除されることを特徴とするＸ線撮影装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明のＸ線撮影装置は、Ｘ線を画像信号に変換するＸ線センサと、前記Ｘ線センサを駆動するための電力を供給するバッテリーと、前記バッテリーを着脱自在に保持するバッテリーホルダと、前記バッテリーが前記バッテリーホルダに保持された状態でロックするロック機構と、前記ロック機構によるロックを解除するロック解除機構と、を備えるＸ線撮影装置であって、前記ロック解除機構は、操作者による少なくとも２つの操作によって、前記ロック機構によるロックが解除されることを特徴とする。